

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 6 年 5 月 28 日

第 3012 例会

第 2606 号



世界に希望を生み出そう

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2023~24 年度

国際ロータリー会長

ゴードン R. マッキナリー

(South Queensferry RC)

Rotary

Toyonaka



2023.7~2024.6

会 長 宮田幹二

副 会 長 武枝敏之

幹 事 原 和永

雑誌・広報・会報委員長

村司辰朗

本日（5月28日）のプログラム

「青少年奉仕月間に因んで」

—ポリオについて—

卓話担当：青少年奉仕委員長

松本 悟

—青少年奉仕フォーラム—



次回（6月 4日）のプログラム

「一年を振り返って」

社会奉仕委員長：藤田充男

国際奉仕委員長：矢野 昭

青少年奉仕委員長：松本 悟

会長の時間

「ミトコンドリアが進化を決めた？」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

化学を専門として研究を長年行くと、専門馬鹿、井の中の蛙になってきます。少しでも科学の全体像に近づきたいとの思いから、グラフィック雑誌を読み始め、以前に「ニュートン」を紹介しました。加えて科学関係の書物も読んできましたが、その一つとして、「ミトコンドリアが進化を決めた」ニック・レーン（著）、斎藤隆央（訳）：みずず書房(2007年)を紹介しします。レーンの著書には、他に「生命の跳躍-進化の十大発明-(2010年)」、「生命、エネルギー、進化(2016年)」などがあります。

序 ミトコンドリア（世界を操る影の支配者）： 私達の各細胞に 300-400 個、人体全体では1京個存在します。20億年ほど前、ある細胞が自分より大きな細胞の中に入り、エネルギー発生つまり発電所の役割を果たすようになりました。入られた方の細胞は、そのエネルギーを使い、10万倍も大きな真核細胞に進化し、複雑になりました。現在でも、ミトコンドリアは独自の遺伝子を持って交信しています。

第1部 真核細胞の起源： 異なる細胞同士の融合はよく起こることです。しかし、真核細胞を生み出した不思議な細胞融合は、一体どのように起こったのか。第2部 生命力（プロトン・パワーと生命の起源）、第3部 内部取引（複雑さのもと）、第4部、5部へと続き、第6部 両性の戦い： ミトコンドリアは母系でのみ受け継がれます。第7部 生命の時計： なぜミトコンドリアはついにはわれわれを殺すのか。どうしたら晩年がより良いものになり、老化をくいとめられるのかもわかる、のではないか？

分子生物学は、生命の根源に関する様々な疑問に答えられるようになりつつある、と言えるかも。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：9 時~15 時(土日祝を除く)

H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3011回	第3008回
例会日	5月14日	4月7日
① 会員数 A	30	30
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	24	24
③ 出席義務者出席数	15	9
④ 出席免除者出席数	2	2
⑤ メイクアップ数		4
⑥ 出席義務者欠席数	9	15
出席率 %	65.38%	57.69%

出席率 (3011回) ③+④/②+④ 出席率 (3008回) ③+④+⑤/②+④

○幹事報告○

- ・国際ロータリー第2660地区より
「ロータリー賞 受賞クラブレポート (5/19 現在)」が届きました。
「継続カウンセラー奨学生資格確認報告」が届きました。
「【大阪・関西万博関連事業】関連資料のご送付とお願い」が届きました。
- ・豊中市都市活力部魅力文化創造課(姉妹都市担当)より
「令和6年度総会 (5月開催) の要点録」が届きました。

👁️ 掲 示 板 👁️

- ・青少年奉仕フォーラム
日 時：2024年5月28日 本日例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場
- ・一年を振り返っての卓話
社会・国際・青少年各奉仕委員長
日 時：2024年6月4日(火) 例会時
場 所：ホテルアイボリー 例会場
- ・2023-24年度 第12回定例理事会
日 時：2024年6月4日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー1F「楓の間」
- ・新旧クラブ協議会
日 時：2024年6月4日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー1F「楓の間」
- ・豊中RC創立記念日例会
日 時：2024年6月15日(土)
受 付：17:30 開始18:00 終了20:30
場 所：ホテル阪急インターナショナル4F「花風」
- ・一年を振り返っての卓話 会長・副会長・幹事
日 時：2024年6月25日(火) 例会時
場 所：ホテルアイボリー 例会場
- ・ニコニコクイズ
日 時：2024年6月25日(火) 例会時
場 所：ホテルアイボリー 例会場

😊5月14日のニコニコ箱報告😊

- ・本日の卓話宜しくお願ひ致します。
地区国際社会奉仕委員会 委員長
徳上 洋之 様
- ・結婚記念日祝いを頂いて 矢野会員
- ・徳上委員長本日は宜しくお願ひ致します。
矢野、武枝各会員
- ・欠席のお詫び 松山、松本悟、古澤各会員
- ・写真を頂いて
米田、矢野、横田、眞下、宮田、藤田、船橋
各会員

🎵本日の唱歌🎵

豊中ロータリークラブの歌

作詞：田中 嘉助

作曲：川澄 健一

奉仕の理想にむすばれし

我ら豊中ロータリアン

家族ともどもほがらかに

心楽しく睦みあい

結ぶともがきいやかたく

常に栄えん 常に栄えん

かがやく 豊中ロータリー

唱歌担当：村司辰朗

豊中ロータリークラブの歌と歴史

この歌は、1995年5月豊中RC家族会の歌として、(故)田中嘉助会長(1977~78年度)の作詞、作曲は川澄健一氏の作として歌っていたが、豊中RC創立30周年を記念誌、歌詞と作曲の一部を改訂し、1989年1月3日より豊中RCの歌として歌われている。

(豊中ロータリークラブ30年の歩みより)

「国際奉仕月間に因んで」

2660 地区国際社会奉仕委員会 委員長
大阪リバーサイド RC 徳上洋之様



私は、ロータリーに入会してからの3年間、奉仕活動には一切参加しないロータリアンでした。だんだん面白く無くなり、例会に参加しにくくなりもうやめよう…そんな時、先輩からカンボジアの奉仕活動に無理やりエントリーさせられました。それは、地区補助金を活用した国際奉仕事業でした。

そのプロジェクトに参加し衝撃を受け、やりがいを感じ、おもしろいと感じました。

10年以上経った今でも私がロータリー活動を続けてれるのはこの国際奉仕活動を体験できたからだと思っています。

2660 地区の会員数が3500名を割ってしまいました。

各クラブの皆様は様々な手法に使われて会員増強に努めておられると思います。

私個人が非常に大事だと感じているのは若手ロータリアンの育成と退会防止です

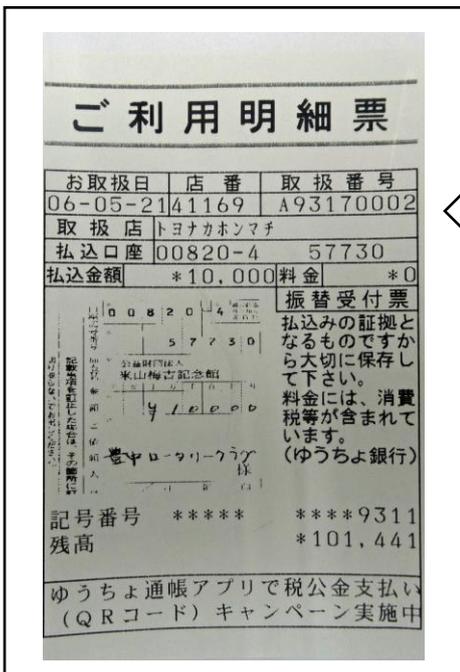
そして、それに効果的なものは「やり甲斐のある奉仕活動」を経験する事なのではないかと思っています。

国際奉仕活動において補助金を使うことは非常に有効的です。地区補助金においての人道的国際奉仕事業に関しては20万円～100万円の補助金を受けることができます。クラブの拠出金は地区補助金申請額と同額以上となりますので地区補助金でも割と大きな奉仕事業ができます。

グローバル補助金の活用においては、ロータリーの7重点分野に沿った、持続可能で測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動であることが要件となります。詳しくは補助金ハンドブックをご覧ください。

ウクライナ人道支援の状況

ロータリー財団補助金のウクライナ救援基金の寄付受理の期限は2023年12月末でした。現在はロータリー財団を介しての金銭支援はできない状況です。各クラブが独自のルートでウクライナに対して人道支援を行っています。



米山梅吉記念館に¥10000の寄付をさせていただきました。

米山奨学委員長：立石 渡

